

別海町議会会議録

第3号（平成30年12月14日）

○議事日程

日程第 1

会議録署名議員の指名

日程第 2

各議案の討論・採決

（1）平成30年度別海町一般会計補正予算（第4号）

（町長提出議案第71号）

（2）平成30年度別海町下水道事業特別会計補正予算
（第2号）

（町長提出議案第72号）

（3）平成30年度別海町介護サービス事業特別会計補正予
算（第1号）

（町長提出議案第73号）

（4）平成30年度町立別海病院事業会計補正予算（第3号）
（町長提出議案第74号）

（5）平成30年度別海町水道事業会計補正予算（第2号）
（町長提出議案第75号）

（6）別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する
条例の一部を改正する条例の制定について
（町長提出議案第76号）

（7）特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条
例の一部を改正する条例の制定について
（町長提出議案第77号）

（8）教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例
の一部を改正する条例の制定について
（町長提出議案第78号）

（9）別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
の制定について
（町長提出議案第79号）

（10）特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関
する条例の一部を改正する条例の制定について
（町長提出議案第80号）

（11）別海町立児童遊園地設置条例の一部を改正する条例の
制定について
（町長提出議案第81号）

（12）工事請負契約の締結について（中西別上風連線改良舗

装工事)

(町長提出議案第 8 2 号)

- (13) 工事請負契約の締結について (根室中部 3 号主要幹線改良舗装工事)

(町長提出議案第 8 3 号)

- (14) 財産の取得について (生活バス)

(町長提出議案第 8 4 号)

- (15) 公の施設に係る指定管理者の指定について (別海町児童デイサービスセンター)

(町長提出議案第 8 5 号)

- (16) 公の施設に係る指定管理者の指定について (別海町酪農工場)

(町長提出議案第 8 6 号)

- (17) 公の施設に係る指定管理者の指定について (別海町農漁村加工体験施設)

(町長提出議案第 8 7 号)

日程第 3

平成 2 9 年度別海町各会計決算審査特別委員会付託事件審査結果報告

- (町長提出認定第 1 号、認定第 2 号、認定第 3 号、認定第 4 号、認定第 5 号、認定第 6 号、認定第 7 号、認定第 8 号)

委員長報告・一括質疑

- (1) 平成 2 9 年度別海町一般会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第 1 号)

討論・採決

- (2) 平成 2 9 年度別海町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第 2 号)

討論・採決

- (3) 平成 2 9 年度別海町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第 3 号)

討論・採決

- (4) 平成 2 9 年度別海町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第 4 号)

討論・採決

- (5) 平成 2 9 年度別海町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第 5 号)

討論・採決

(6) 平成29年度別海町後期高齢者医療特別会計歳入歳出
決算認定について

(町長提出認定第6号)

討論・採決

(7) 平成29年度町立別海病院事業会計決算認定について
(町長提出認定第7号)

討論・採決

(8) 平成29年度別海町水道事業会計決算認定について
(町長提出認定第8号)

討論・採決

日程第 4 発議第 4号 北方領土問題の解決と日露平和条約締結に関する意見書につ
いて

日程第 5 発委第 2号 難病医療費助成制度の改善を求める意見書について

日程第 6 委員会の閉会中の継続調査の件

○会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 各議案の討論・採決

(1) 平成30年度別海町一般会計補正予算(第4号)

(町長提出議案第71号)

(2) 平成30年度別海町下水道事業特別会計補正予算
(第2号)

(町長提出議案第72号)

(3) 平成30年度別海町介護サービス事業特別会計補正予
算(第1号)

(町長提出議案第73号)

(4) 平成30年度町立別海病院事業会計補正予算(第3号)
(町長提出議案第74号)

(5) 平成30年度別海町水道事業会計補正予算(第2号)
(町長提出議案第75号)

(6) 別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する
条例の一部を改正する条例の制定について

(町長提出議案第76号)

(7) 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条
例の一部を改正する条例の制定について

(町長提出議案第77号)

(8) 教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例
の一部を改正する条例の制定について

(町長提出議案第78号)

(9) 別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
の制定について

(町長提出議案第79号)

- (10) 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(町長提出議案第 8 0 号)
- (11) 別海町立児童遊園地設置条例の一部を改正する条例の制定について
(町長提出議案第 8 1 号)
- (12) 工事請負契約の締結について (中西別上風連線改良舗装工事)
(町長提出議案第 8 2 号)
- (13) 工事請負契約の締結について (根室中部 3 号主要幹線改良舗装工事)
(町長提出議案第 8 3 号)
- (14) 財産の取得について (生活バス)
(町長提出議案第 8 4 号)
- (15) 公の施設に係る指定管理者の指定について (別海町児童デイサービスセンター)
(町長提出議案第 8 5 号)
- (16) 公の施設に係る指定管理者の指定について (別海町酪農工場)
(町長提出議案第 8 6 号)
- (17) 公の施設に係る指定管理者の指定について (別海町農漁村加工体験施設)
(町長提出議案第 8 7 号)

日程第 3

平成 2 9 年度別海町各会計決算審査特別委員会付託事件審査結果報告

(町長提出認定第 1 号、認定第 2 号、認定第 3 号、認定第 4 号、認定第 5 号、認定第 6 号、認定第 7 号、認定第 8 号)

委員長報告・一括質疑

(1) 平成 2 9 年度別海町一般会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第 1 号)

討論・採決

(2) 平成 2 9 年度別海町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第 2 号)

討論・採決

(3) 平成 2 9 年度別海町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第 3 号)

討論・採決

(4) 平成 2 9 年度別海町介護サービス事業特別会計歳入歳

出決算認定について

(町長提出認定第4号)

討論・採決

(5) 平成29年度別海町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第5号)

討論・採決

(6) 平成29年度別海町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

(町長提出認定第6号)

討論・採決

(7) 平成29年度町立別海病院事業会計決算認定について

(町長提出認定第7号)

討論・採決

(8) 平成29年度別海町水道事業会計決算認定について

(町長提出認定第8号)

討論・採決

日程第 4 発議第 4 号 北方領土問題の解決と日露平和条約締結に関する意見書について

日程第 5 発委第 2 号 難病医療費助成制度の改善を求める意見書について
日程第 6 委員会の閉会中の継続調査の件

○出席議員（16名）

1 番	小 椋 哲 也	2 番	外 山 浩 司
3 番	大 内 省 吾	4 番	木 嶋 悦 寛
5 番	松 壽 孝 雄	6 番	森 本 一 夫
7 番	今 西 和 雄	8 番	西 原 浩
9 番	杳 澤 昌 廣	10 番	小 林 敏 之
11 番	瀧 川 榮 子	12 番	戸 田 憲 悦
13 番	中 村 忠 士	14 番	渡 邊 政 吉
副議長 15 番	佐 藤 初 雄	議 長 16 番	松 原 政 勝

○欠席議員（0名）

○出席説明員

町 長	曾 根 興 三	副 町 長	佐 藤 次 春
教 育 長	伊 藤 多加志	総 務 部 長	竹 中 仁
福 祉 部 長	河 嶋 田鶴枝	産 業 振 興 部 長	登 藤 和 哉
建 設 水 道 部 長	山 岸 英 一	教 育 部 長	山 田 一 志
病 院 事 務 長	大 槻 祐 二	会 計 管 理 者	阿 部 美 幸
監 査 委 員 事 務 局 長	小 湊 昌 博	農 委 事 務 局 長	中 村 公 一
総 務 部 次 長	今 野 健 一	福 祉 部 次 長	青 柳 茂

産業振興部次長 門 脇 芳 則
教 育 部 次 長 石 川 誠
総合政策課長 佐々木 栄 典
税 務 課 長 宮 本 栄 一
福 祉 課 長 干 場 みゆき
老 健 事 務 長 川 畑 智 明
水産みどり課長 新 堀 光 行
事 業 課 長 小 島 実
生涯学習課長 石 川 誠

建設水道部次長 小 島 実
総 務 課 長 今 野 健 一
財 政 課 長 寺 尾 真太郎
防災交通課長 麻郷地 聡
町 民 課 長 青 柳 茂
農 政 課 長 小 野 武 史
管 理 課 長 伊 藤 一 成
上下水道課長 外 石 昭 博
図 書 館 長 千 葉 宏

○議会事務局出席職員

事 務 局 長 浦 山 吉 人 主 幹 松 本 博 史

○会議録署名議員

4 番 木 嶋 悦 寛
6 番 森 本 一 夫

5 番 松 壽 孝 雄

開議 午前10時00分

◎開議宣告

○議長（松原政勝君） おはようございます。
ただいまから第4日目の会議を開きます。
ただいま出席している議員は16名であります。
定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（松原政勝君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により議長において指名いたします。
4番木嶋議員、5番松壽議員、6番森本議員、以上3名を指名いたします。

◎日程第2 各議案の討論・採決

○議長（松原政勝君） 日程第2 各議案の討論・採決を行います。
初めに、議案第71号平成30年度別海町一般会計補正予算（第4号）の討論に入ります。
討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。
これから採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第71号は、原案のとおり可決されました。
議案第72号平成30年度別海町下水道事業特別会計補正予算（第2号）の討論に入ります。
討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。
これから採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第72号は、原案のとおり可決されました。
議案第73号平成30年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）の討論に入ります。
討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。
これから採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第73号は、原案のとおり可決されました。

議案第74号平成30年度町立別海病院事業会計補正予算（第3号）の討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第74号は、原案のとおり可決されました。

議案第75号平成30年度別海町水道事業会計補正予算（第2号）の討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第75号は、原案のとおり可決されました。

議案第76号別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第76号は、原案のとおり可決されました。

議案第77号特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第77号は、原案のとおり可決されました。

議案第78号教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第78号は、原案のとおり可決されました。

議案第79号別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第79号は、原案のとおり可決されました。

議案第80号特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第80号は、原案のとおり可決されました。

議案第81号別海町立児童遊園地設置条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第81号は、原案のとおり可決されました。

議案第82号工事請負契約の締結について(中西別上風連線改良舗装工事)の討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第８２号は、原案のとおり可決されました。

議案第８３号工事請負契約の締結について（根室中部３号主要幹線改良舗装工事）の討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第８３号は、原案のとおり可決されました。

議案第８４号財産の取得について（生活バス）の討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第８４号は、原案のとおり可決されました。

議案第８５号公の施設に係る指定管理者の指定について（別海町児童デイサービスセンター）の討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第８５号は、原案のとおり可決されました。

議案第８６号公の施設に係る指定管理者の指定について（別海町酪農工場）の討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第86号は、原案のとおり可決されました。

議案第87号公の施設に係る指定管理者の指定について(別海町農漁村加工体験施設)の討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第87号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第3 平成29年度別海町各会計決算審査特別委員会付託事件審査結果報告

○議長(松原政勝君) 日程第3 平成29年度別海町各会計決算審査特別委員会付託事件審査結果報告(認定第1号から認定第8号までの8件について)を議題といたします。

本件につきましては、平成30年第3回定例会において各会計決算審査特別委員会を設置し、審査を付託しております。

この審査報告書が提出されておりますので、審査結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長、小林委員長。

○決算審査特別委員会委員長(小林敏之君) はい。

平成29年度別海町各会計決算審査特別委員会における審査経過と結果について御報告いたします。

本年第3回定例会で認定第1号から認定第8号までが上程され、9月11日の本会議において特別委員会が設置され、決算審査について付託されました。

9月12日には第1回目の委員会を開催し、審査方法などを協議、決定し、本審査に必要な関係資料の提出を求めました。

なお、本年度も事前資料や事前質問を取りまとめるなど、質疑の充実と効率的な審査となるよう努めたところでございます。

本審査は、10月23日から10月31日までのうち4日間の日程で所管ごとに内容を慎重に審査して、11月22日には理事者などの出席を求め、総括質疑を行い、全ての質疑を終了し、委員会として討論・採決に至ったものであります。

審査の経過と結果については、お手元に配付しております報告書のとおりでありますので、朗読は省略させていただき、今後の行政執行における指摘事項を含め、審査意見として御報告申し上げます。

なお、委員会では各会計とも適正に執行されているとして、採決では一般会計を初め、全ての会計について全員一致で認定された次第であります。

最初に、一般会計については、歳入歳出実質収支額で8,936万1,000円の黒字決算となっており、財政健全化判断比率等を見ましても、早期健全化基準を下回っており、健全性を確保していると認められますが、本町が将来にわたり持続的、継続的に発展していくために、今後も引き続き予算全般において歳出の抑制を行い、健全な財政運営を目指すべき

であると言えます。

地方財政を取り巻く環境は、一部では緩やかに回復している兆しが認められるものの、人口減少や少子高齢化などの社会的要因による将来不安などにより、依然として厳しい状況にあると言えます。

今後においては、国や道支出金のさらなる積極的な導入や各種基金の計画的な運用により、これまでも増した財源確保に努められることを期待するものであります。

特に、町税及び税外の収入未済額、あるいは滞納繰越額に対する収納環境、処分方法については、現在の社会情勢などを見ると、ますます困難になることは否めず、円滑な財政運営に支障を来すとともに公正、公平な負担を著しく欠き、町民の納付意識の低下を招くことが懸念されます。

このことから、今後も別海町債権管理条例に基づき、関係所管が共通認識のもと、自主納付を促すとともに、個々の生活状況などに配慮しながら、きめ細かな対応をとるなど、なお一層、収納対策の強化、収納率の向上に努める必要があります。

また、これまで行ってきた事業の検証や分析を行い、行政サービスの向上や少子高齢化社会への迅速な対応及び危機管理能力の向上などの諸課題に対し、新たな発想による取り組みも必要であります。

町は、これまでも地域の実情に調和した起業家支援事業や地域貢献中小企業支援事業などすぐれた事業を展開してきました。

今後においても、独自の着眼による別海町規格の事業を効果的に展開することを期待するものであります。

自主・自立の行政運営を実行し、住みよいまちづくりを実践するためには、自治基本条例に基づき、あらゆる行政情報を町民と共有することが必要です。

その上で町民の利便性の向上や町民ニーズに対応した行政サービスの対応に努め、新たな第7次総合計画の策定による、その着実な実践と町民とともに歩む協働のまちづくりのさらなる推進のため、効率的、効果的な予算執行に取り組むことを期待します。

次に、5つの特別会計についてです。

国民健康保険特別会計については、収入未済額は、全額国民健康保険税の未収金であり、前年度と比較すると、現年課税分で10.8%、滞納繰越分で26.2%減少しております。

収入未済額が歳入調定総額の1.9%と前年度を下回る状況となっています。

また、一般会計からの繰入金は、前年度と比較し、4.8%減少し、約1億3,963万円となっています。

国民健康保険税の収納状況は、滞納整理機構による徴収を含め、対前年比1.1ポイント上回る94.4%で、依然として高い収納率を堅持し、滞納世帯への対応や取り組みに関し、関係職員等の努力は高く評価できますが、公正、公平な負担と税収の確保の観点から、今後も収入未済額の解消と収納率の向上に向け、さらなる努力と慎重な対応が望まれます。

下水道事業特別会計については、当年度末までに供用開始している8地区とも計画に沿って推移している状況にあります。

下水道普及率60.7%は微増し、関係職員の努力が認められます。

一般会計からの繰入金は、前年度と比較すると約280万円増加しており、収入未済額についても微増ではあるが増加しています。

今後も町民の理解と協力を得ながら未収金の解消に努めるとともに、老朽施設の整備を計画的に進めることが望まれます。

介護サービス事業特別会計については、一般会計からの繰入金は、前年度と比較すると3,020万円減少しており、今後も将来見通しを十分に勘案して予算執行に努めるべきと考えます。

介護保険特別会計については、決算では、1,717万円の黒字となっていますが、一般会計からの繰入金は、前年度と比較すると1,117万円増加となっています。

収入未済額については、現年分、滞納繰越分合わせて約37万円減少しています。

給与や年金から保険料が徴収されない普通徴収被保険者の未納については、増加する傾向にあると予想されることから、今後も介護保険制度などの情報を積極的に提供し、理解を求めながら未収金の解消に向けた努力が望まれます。

後期高齢者医療特別会計については、一般会計からの繰入金は、前年度と比較すると99万8,000円増加しており、収入未済額は、現年分、滞納繰越分合わせて83万6,000円増加しています。

今後も町民に広く理解を求めながら、未収金回収に努力が望まれます。

次に、町立別海病院事業及び水道事業の2企業会計についてであります。

まず、病院事業会計についてですが、患者数は、前年度に比べ1,103人減少し、一日平均患者数の比較でも6.5人減少しています。

これは、当年度に標榜した整形外科において入院・外来ともに増加したものの、主要な診療科目である内科・外科の外来の減少に加え、年度途中に小児科医が退職したことによる小児科と産婦人科の減少が大きな要因となっております。

収益面では、前年度と比較して、入院収益で約2,364万円(3.9%)の増加、外来収益で37万7,000円(0.01%)の減少となっています。

また、病院会計を運営するため必要な一般会計からの補助金、負担金及び出資金の繰り入れは、前年度と比較すると約1,017万円増の7億9,516万円で、依然として高額で推移しており、累積欠損金も引き続き20億円を超える状況にあることから、今後も厳しい経営が続くものと想定されます。

地域医療の経営環境や医療提供体制の維持は、極めて厳しい状況下にあります。

今後とも必要な医療提供体制の確保・維持と病床利用率の向上を図るため、医師及び医療従事者の安定的確保や適切な診療体制の維持と経費削減に努め、住民から信頼される自治体病院として、地域に根ざした良質な医療を継続して提供されることを望むものです。

次に、水道事業会計ですが、適正に執行されており、今後においても引き続きコスト縮減、経営の効率化に努め、将来にわたる安定給水の確保や経営の安定化を図ることを期待するものです。

また、別海町水道ビジョンに基づく水道施設耐震化更新計画に沿って、施設の計画的な整備と長寿命化を図るとともに、新たに整備された水道事業危機管理マニュアルにより、危機発生時における迅速かつ的確な対応の精度を高めていただくことを望むものであります。

以上が、審査過程における意見であります。

総括的に見ますと、地方の行財政は、少子高齢化、人口減少、社会保障、保健・医療対策による地方負担の増や、高度成長期に整備してきた公共施設の老朽化など、厳しい環境下に置かれていると言えます、本町においても、これらの諸課題が基幹産業や財政運営に大きな影響を及ぼすことは明らかであり、産業振興や町民福祉の向上を図るために、今後どのような予算を編成していくか極めて難しい現状に直面していると言えます。

平成21年3月に「笑顔あふれる豊かさ実感のまち べつかい」を町の将来像として策定

した第6次別海町総合計画は、本年度をもって、その計画期間は終了いたします。

当該計画の点検・評価報告は、既に表示されているところでありますが、今後に残された諸課題を改めて総括し、現在策定に取り組まれている新たな総合計画において、それらの解決につながる施策の展開を進めていただきたいと思います。

そして、避けては通ることができない急激な人口減少を少しでも緩やかなものとし、将来にわたって活力ある自立したまちづくりを実現するため、「別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と連動させながら、産業、福祉、教育、観光などの各分野において町の特性を最大限に生かし、戦略に定める基本目標の達成に行政と町民、関係団体などが一丸となって取り組むことを真摯に切望するものであります。

最後になりますが、本特別委員会で創意工夫に関する事項、4項目の質問に対して、町側から前向きな答弁をいただき、本特別委員会では価値あるものとして位置づけしたところであることをここに述べさせていただきます。

以上をもって、平成29年度別海町各会計決算審査特別委員会の報告といたします。

○議長（松原政勝君） 委員長報告が終わりましたので、ここで委員長報告に対する一括質疑を行います。

質疑に入ります。

○13番（中村忠士君） はい。

○議長（松原政勝君） 13番中村議員。

○13番（中村忠士君） はい。

委員長を初め、委員の皆さんには、長時間にわたる慎重な審議、大変御苦労さまでございました。

5点について質問させていただきます。

まず1点目ですけれども、水産系副産物再資源化施設管理運営費、6,431万円余となっている一方、水産資源副産物処理手数料が1,208万円余、水産系副産物再資源化施設協定収入が4,684万円余ということなので、厳しい運営状況にあるのかなというふうに思います。

現状と課題、今後の見通しについて審査は行われたでしょうか。

2点目です。

根室北部廃棄物処理広域連合関係経費の広域連合負担金が2億4,043万円余で、平成28年度より450万円増となっています。

利用者負担の増加傾向や今後の大規模改修に対する町の考え方についての審査は行われたでしょうか。

3点目です。

資源循環施設管理経費の機器等借上料が156万円余、改修等工事請負費が116万円余となっています。

資源循環施設が町に移管されてから相当額の管理経費がつぎ込まれてきたと思いますが、現状と課題、今後の見通しについて審査は行われたでしょうか。

4点目です。

ふるさと交流館管理経費が3,855万円余となっており、前年比で大幅な減額となっています。

その理由、現状と課題、今後の見通しについて審査は行われたでしょうか。

最後です。

5 点目。

体育施設管理経費の指定管理施設管理費が 9, 9 9 3 万円となっており、前年比で大幅増となっています。

その理由、現状と課題、今後の見通しについて審査は行われたでしょうか。

以上、5 点について審査の状況をお聞かせ願いたいと思います。

よろしくお願いします。

○議長（松原政勝君） 小林委員長。

○決算審査特別委員会委員長（小林敏之君） 1 番目の水産系副産物再資源化施設の運営関係ですが、残渣物等の減少による収入不足については、平成 2 8 年度から町と関係団体で年度ごとに協定を交わし、収入不足を負担していること、また、今後については、ヒトデの発生も少しずつふえていることもあり、状況を見ながら対応策を検討していくことを審査において確認しております。

2 点目でございます。

根室北部廃棄物処理広域連合関係経費については、負担金の増額の理由は、補修工事の増によるものであること、また、広域連合から示されている修繕計画期間中の本町の負担金の実績額と今後の見込み額を審査において確認しております。

3 番目、資源循環施設管理経費については、町有施設に移管後、管理経費の年度ごとの推移、施設の修繕の基本協定における上限額の定めや高額な修繕となる場合の取り扱い、また、今後については第 7 次総合計画の中で方向性を決めていくことを審査において確認しております。

4 番目でございます。

ふるさと交流館管理経費については、平成 2 8 年 1 0 月から平成 2 9 年 3 月の期間で行った浴場の改修工事により工事期間中入浴施設の片方だけを交互に使用する対応であったことから、平常時の状況と比較し、差額分を精査したことにより、管理経費が減額となったことを審査において確認しております。

今後の見通しなどについては、指定管理期間中において検討を進めていくということを審査において確認しております。

最後の 5 番目でございます。

体育施設管理経費については、指定管理施設管理経費の増額の理由は、職員の雇用形態の一部をパートから嘱託職員に改めたことや、平成 2 9 年度から新たな指定管理期間において管理委託料と利用料金収入の取り扱いの見直しや、諸経費の内容精査を行ったことが主な理由であること、また、現状と課題、今後の見通しについては、さまざまなスポーツ教室を立案しても、スポーツの競技人口自体の減少などにより参加者がなかなか集まらない傾向にあることから、今後は、SNS などの利活用によるさらなる周知徹底と魅力ある企画を発信することで参加者の増員につなげていくことや、業務を継続していくための人材の確保に力を入れていく方針であるということを審査において確認いたしました。

以上でございます。

○議長（松原政勝君） 1 3 番中村議員、よろしいですか。

○1 3 番（中村忠士君） はい。

○議長（松原政勝君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから、平成２９年度別海町各会計決算認定について討論・採決を行います。

初めに、認定第１号平成２９年度別海町一般会計歳入歳出決算認定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから、認定第１号を採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、認定第１号は、認定することに決定いたしました。

次に、認定第２号平成２９年度別海町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから、認定第２号を採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、認定第２号は、認定することに決定いたしました。

次に、認定第３号平成２９年度別海町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから、認定第３号を採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、認定第３号は、認定することに決定いたしました。

次に、認定第４号平成２９年度別海町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから、認定第４号を採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、認定第４号は、認定することに決定いたしました。

次に、認定第５号平成２９年度別海町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についての討論

に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから、認定第5号を採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、認定第5号は、認定することに決定いたしました。

次に、認定第6号平成29年度別海町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから、認定第6号を採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、認定第6号は、認定することに決定いたしました。

次に、認定第7号平成29年度町立別海病院事業会計決算認定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから、認定第7号を採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、認定第7号は、認定することに決定いたしました。

次に、認定第8号平成29年度別海町水道事業会計決算認定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから、認定第8号を採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、認定第8号は、認定することに決定いたしました。

ただいま平成29年度別海町各会計決算認定について全て決定いたしましたので、平成29年度別海町各会計決算審査特別委員会は解散したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、平成29年度別海町各会計決算審査特別委員会は、ただいまをもって解散とします。

小林委員長、戸田副委員長を初め、委員の皆様、大変御苦労さまでございました。

ここで、会議を10分間休憩いたします。

午前10時55分 休憩

午前11時05分 再開

○議長（松原政勝君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

◎委員会付託省略の議決

○議長（松原政勝君） ここで、お諮りします。

日程第4 発議第4号及び日程第5 発委第2号の2件については、会議規則第39条第3項の規定に基づき、委員会の付託は省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、日程第4 発議第4号及び日程第5 発委第2号までの2件については、委員会の付託は省略することに決定いたしました。

◎日程第4 発議第4号

○議長（松原政勝君） 日程第4 発議第4号北方領土問題の解決と日露平和条約締結に関する意見書についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

15番佐藤議員。

○15番（佐藤初雄君） はい。

それでは、北方領土問題の解決と日露平和条約締結に関する意見書の内容について御説明申し上げます。

我が国固有の領土である歯舞・色丹・国後・択捉の北方領土の返還を実現し、日露平和条約を締結することは、戦後残された最大の国家課題であり、隣国との友好関係を確立することは国民の悲願でもあります。

北方領土問題を解決して平和条約を締結することは、両国関係の正常化のみならず、国際社会の平和と安定に大きく貢献するものであり、政府が日露両国間の政治的対話を重ね、共同経済活動等による信頼関係の醸成を通じ、その解決に努めていく姿勢は高く評価するところであります。

四島は、日露両国が平和的に合意して国境を定めて以来、歴史的に一度も他国の支配を受けたことがない日本固有の領土という、これまでの主張が変わってしまうのであれば、大きな危惧を抱かざるを得ません。

よって、国においては、四島は日本固有の領土であるという国民の総意と悲願、そして先人の努力に応え、今日まで両国間で積み重ねてきた諸合意に基づき、北方領土問題の解決と平和条約締結に向けた交渉を進めるよう強く要望します。

発議第4号北方領土問題の解決と日露平和条約締結に関する意見書。

上記の議案を、別紙のとおり別海町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出します。

平成30年12月14日、別海町議会議長、松原政勝殿。

提出者、別海町議会議員、佐藤初雄、賛成者、同、西原浩、同、小林敏之、同、戸田憲悦、同、沓澤昌廣。

なお、意見書の朗読について、先ほどの提案理由と同様のため割愛いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年12月14日、北海道野付郡別海町議会議長、松原政勝。

意見書提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）。

以上であります。

御審議の上、議員各位の御賛同により御決定賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

○議長（松原政勝君） 発議第4号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、発議第4号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第5 発委第2号

○議長（松原政勝君） 日程第5 発委第2号難病医療費助成制度の改善を求める意見書についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

12番、戸田議員。

○福祉医療常任委員長（戸田憲悦君） はい。

難病医療費助成制度の改善を求める意見書の内容について御説明申し上げます。

2014年5月に難病の患者に対する医療等に関する法律が成立し、2015年1月から新たな難病医療費助成制度が施行されました。

これによって、難病医療費助成の対象となる疾病が大幅に拡大され、自己負担割合が3割から2割に引き下げられるなどの改善がされましたが、一方で、軽症患者が対象から外され、自己負担限度額の引き上げや、これまで自己負担がなかった重症患者や住民税非課税世帯にも自己負担を課すなど、認定基準の強化や新たな負担を強いるということにもなりました。

この結果、厚生労働省は、対象疾病の増加によって医療費助成を受ける患者数が 2011年度の78万人から2015年度には150万人に倍増するという試算していました。しかし、2015年度末の患者数は94万人。

医療費助成の総事業費は、1,820億円の試算に対して1,385億円となっております。

この背景には、認定基準が厳しくなったことにより難病対象であっても申請を行わなかったり、自己負担がふえることによる受診の抑制などが要因として考えられます。

よって、政府におかれましては、下記の事項を実現されることを求めます。

1 番目として、市町村民税非課税者、重症患者の自己負担をなくすこと。

2 点目として、院外薬局の薬代や訪問看護費の自己負担をなくすこと。

3 点目として、入院時食費を自己負担限度額に含めること。

4 点目として、早期からの治療が重要であり、指定難病の医療費助成について重症度分類による選別をやめ、軽度者を含めた全ての指定難病患者を医療費助成の対象とすること。

この4点でございます。

発委第2号難病医療費助成制度の改善を求める意見書。

上記の議案を、別紙のとおり別海町議会会議規則第14条第3項の規定により提出いたします。

平成30年12月14日、別海町議会議長、松原政勝殿。

提出者、別海町議会福祉医療常任委員会委員長、戸田憲悦。

なお、意見書の朗読につきましては、先ほどの提案理由と同様のため割愛いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年12月14日、北海道野付郡別海町議会議長、松原政勝。

意見の提出先は、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣。

以上であります。

御審議の上、議員各位の御賛同により御決定賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

○議長（松原政勝君） 発委第2号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、発委第2号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第6 委員会の閉会中の継続調査の件

○議長（松原政勝君） 日程第6 委員会の閉会中の継続調査の件を議題といたします。

各委員長から会議規則第75条の規定により、所管事務及び所掌事務について、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りします。

各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

◎閉会宣告

○議長（松原政勝君） これで、本日の日程は、全部終了いたしました。

会議を閉じます。

平成30年第4回別海町議会定例会を閉会いたします。

閉会 午前11時04分

◎町長挨拶

○議長（松原政勝君） 町長挨拶。

○町長（曾根興三君） 議員の皆様方におかれましては、4日間にわたりまして慎重な御審議をいただき、提出いたしました全ての議案につきまして御決定を賜りましたことを心よりお礼を申し上げます。

また、本定例会において、平成29年度の各会計決算にしましても全てを認定いただきました。

小林委員長を初め、委員の皆様方には慎重な御審議をいただき、本当に感謝を申し上げます。

また、審査の中でいただきました各種指摘事項、財源確保、負担の公平・公正、そして事業効率の検討、新たな発想に取り組んでくれというような御意見を賜りました。

今後の行政にしっかり生かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

平成30年も今月で終わりでございます。

あと何日かとなりました。

31年に入りますと、早々に1月の5日には町主催の新年交礼会、また、その前に出初式がございます。

また、1月7日には、平成31年の、第71回の別海町成人式を中央公民館で開催する予定でございます。

議員の皆様方には、お忙しい時期とは存じますが、できるだけ多くの方々に御出席をいただければありがたいとそんなふうに願っているところでございます。

また、行政的には、今年度中にやらなければならないことが多々ございます。

特に、第7次の総合計画は、しっかり策定したいと思っておりますし、今すぐ取り組んでいかなければならない課題としては、一つは、北方領土の情勢でございます。

今、意見書も御決定されたようでございますけれども、非常にこの70年間とは大きく

違った動きが最近進んでおります。

どういう形で私どもが領土返還のための後押しになれるのか、そういったことをしっかり情報を把握し、確認をし、管内の一緒の自治体でお互いの理解をもってしっかり取り組んでいかなければならない、それは、本当に、残された30年度の残りの3カ月の中で取り組んでいかなければならない課題だと、そんなふうに思っております。

もう一つ、陸上自衛隊の再編がほぼ現実的になりつつあります。

うちも駐屯地がある市町村として、どのような状況にあるのか、これも情報を早くつかんで対応をしていく、そういう迅速な動きが必要な期間になるというふうに思っておりますので、3月議会までにどんなふうな動きがあるのか、また皆様方に逐次御報告をし、御協力を賜りたいと思っております。

私自身も情報が入り次第、迅速に運動し、東京でも札幌に行っても、何としても駐屯地の人員削減をできるだけ阻止できるような、そういう動きができることが大切なことだと思っております。

まちを挙げてしっかり取り組んでいく必要があると思いますので、改めまして御協力をお願い申し上げます。

それでは、皆様方、健康でよいお年を迎えますように御祈念を申し上げまして、本定例会閉会にあたりましてのお礼の御挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

○議長（松原政勝君） 私のほうから皆様に申し上げます。

これから年末年始を迎え、酒席の機会が多くなることと思いますが、どうぞ御自愛をいただきますようお願いいたします。

大変1年間御苦勞さまでございました。

以上で終わります。